



親子支援だより ほっと通信 11月号 No.7

平成30年11月1日 浜松学院大学付属幼稚園

【発行】教頭：山梨明子

【添文】心の相談員：中島祐子



毎日、家事や育児を頑張るお母さん。このおたよりを読みながら・・・
①ほっとひと息ついて ②ホッと安心し ③ホット (HOT) な温かく優しい気分に包まれますように・・・♡ いつでも応援しています！共に歩みましょうね。

さわやかな秋晴れが続き、澄み切った空を眺めていると「のんびりお散歩できれば最高だなあ～」と感じる日がありますよね。

そこで、今月は『五感をフルに使って歩く』という内容でお話したいと思います。また、幼稚園徒歩コースのお母さんから、こんなに素敵なコメントを頂いたので以下に紹介させていただきますね！

★★★★★「子どもと一緒に歩く中で」★★★★★

小学校入学まであと2年で集団歩行や安全確認ができるようになるかな？と思って今年度から始めた親子での徒歩通園。私の予想よりずっと頑張るダウン症の息子は、お友達と歩く楽しさが少しずつ分かってきたようです。色とりどりの葉っぱやゴミ収集車、花の香り、水たまり、車のエンジン音…。こどもの目線から見える風景は、私の見る風景とは違いはるかに色鮮やかでダイナミックなのでしょう。だからこそ…その誘惑に負けて見とれたり気が逸れたりすることも多い息子ですが、毎日何度も徒歩通園を繰り返すことで、日陰は涼しい、濡れたマンホールは滑る…など自分で発見したことや“車が来たら壁にピタン”と車を避ける事など、お友達を見てできるようになったこともあります。超スローペースな彼の歩調が遅れると、後ろを振り返って励ましてくれるお友達もいるのです。そんな子どもたちに声をかけながら登降園することは、今では私の楽しみになりました！歩き始めて半年。そして年長さんまであと半年！これからも、息子がどんな発見をして、どのくらい成長できるのか…きっと私の想像と違うのだろうな～！そう思ってニヤリとしながら前後左右の安全確認をしながら手をあげて、ひとり横断歩道を渡る母なのでした。(徒歩コースのおかげで、私ひとりの時でも自然に手をあげるようになりました！笑)★★★★★

…いかがでしたか。我が子が歩きながら何を見てどんなことを感じているのか…それをあたたかなまなざしで汲み取っているお母さんの姿。そして、徒歩コースを経験しながら心身ともにたくましくなってきた子どもの姿。そして何より親子一緒に歩くことの楽しさを共感し合いながら徒歩経験を日々積み重ねている姿に改めて感銘を受けました！歩くことは、身体運動だけでなく、頭も心もフル回転機能していることがよく分かりますよね。特に感受性豊かな子ども時代には、自分で歩きながら、見て触れて嗅いで感じて聴いて…五感を通して心と頭が覚えることがたくさんあります！（私の幼少期は…毎日道草しながら虫を捕まえたり木々で遊んだり、時には橋ではなく川の中を渡って下校していたなあ…笑）五感の機能に感謝しながらフル活用したいものですね！山梨明子

11月のカウンセリング予定

- ★11月1日(木) 全て予約済のため
- ★11月8日(木) 空きはありません
- ★11月15日(木)
- ★11月21日(水)

12月のカウンセリング予定

- ★12月6日(木) 13:00～可能です
- ★12月13日(木) 11:00～、13:00～可能です
- ★12月19日(水) 終日予約可能です

皆さん、こんにちは！今月は、カウンセリングに来られていた卒園児のお母様のKさんが、せきららな子育て体験記を綴って下さいましたので、以下にご紹介させていただきますね。

♡♡♡Kさんより♡♡♡

私は付属幼稚園の卒園児で発達障害を持つ息子の母です。園では息子が大変お世話になり、小学校に上がってから色々相談をさせていただいた感謝の気持ちを込めて、現在入学について悩んでいる方々に何かお役になればと、息子の小学校生活について筆をとりました。息子は現在小学校2年生で、小人数の情緒級クラスに通っています。入学前には、支援級クラスの見学や夏季就学前相談にも行きました。その中で小学校の発達コーディネーターの先生から、我が子の場合は支援級から普通級に移る方が本人にとってダメージが少ないだろうと聞き、息子の特徴を踏まえて支援級を考えました。けれども、主人の考えが普通級で、夫婦間の考えの違いも子どもの負担になり得るという助言もあったので、最終的には普通級を選びました。

そして4月の入学式では、その雰囲気と、幼稚園の友達がいないという緊張感に耐えられずパニック状態…母親の私と離れられず、急遽、息子の隣に母親席をひとつ作ってもらい式を終えました。恥ずかしさと、やっぱり…という思いで、誰にも気持ちを伝えられず、悲しい思いでどっと疲れたのを覚えています。しかし、翌日からは、近所の子と集団登校で何事もなかったかのように、学校へ行きました。その後、1学期間は子どもの話から、毎日楽しんで通っているものと思っていました。最初の参観会に行った時に、彼の横にぴったり学習支援の先生がついて下さり、ありがたいなあ、正直そのまま普通級で何とか通えるかもしれないと軽く考えていました。しかし、その先生は、息子の為の先生ではないので、次第に支援が必要な他のクラスへも行かれるようになると、徐々に息子の中で授業中の困難なことがはつきりしてきたのだと思います。1学期の終わりから行き渋りが始まり、夏休み明けの2学期中はほとんど親子での登校になりました。私は、徐々に「これは大変だ」と思うようになりました。ただのわがままと思われるかもしれませんが、授業中先生が話していることがわからないと不安になってイライラしてしまい、すぐにでも理解したいから質問したくて、先生の話待たずに質問してしまうこと。自分は怒られることはしてなくても、他の子が怒られていたら、自分も悪いことをしてしまっただけか？その雰囲気や先生の声が大きくて怖い。それも不安になってしまう。給食の時に皆がカウントダウンをするとその声がうるさくて、自分が遅くなくても、ドキドキしてしまう…内心そんな思いがあった息子ですが、その時は何もなかったかのように帰宅後に「あれが嫌だったから学校に行きたくない」となってしまったのです。この時期、母親である私が一緒に小学校に通って、困っている息子を目の当たりにできたことは、彼の困難さに気づく、『ピンチの中のチャンス』だったと今では感じる事ができます。息子のことを分かっているのは自分だと過信せずに、息子の気持ちを確認しながら、でも自分の肌で感じる感覚を大切にしていってほしいということにも気づかされました。♡♡♡続きは次号で♡♡♡

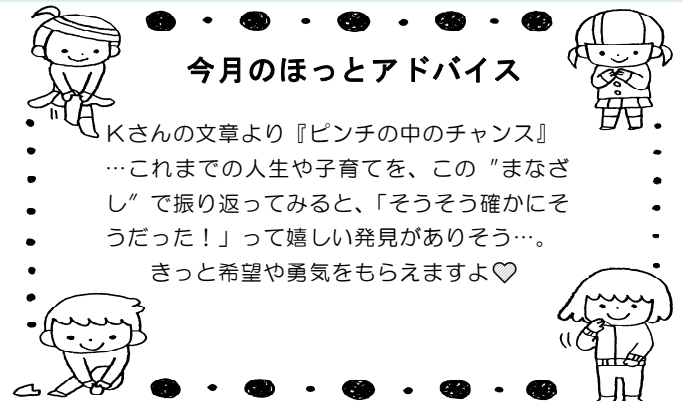
Kさん、息子さんへの愛の溢れた素直な体験記を本当にありがとうございました。もともと素直なKさんは、行き詰まった時は勇気を出してSOSを発信し、悩みながらも親子の絆を育ててこられました。ユニークな息子さんがKさんご夫婦を育ててくれたのですね。

♡♡♡心の相談員：中島祐子♡♡♡

ほっと通信にお寄せいただいた最近の感想です…！

- ◎9月号を読んで次の10月号がとても待ち遠しく感じられました！いつも大事なことに気付かされる通信の内容で…毎月の発行を楽しみにしています。
- ◎9月号のママBさんの『同じクラスになれて嬉しいようちの子が大切なことを学べるから』という言葉を読んだときに感動して涙がでてしまいました。こんなふうに思ってもらえるって本当にうれしいです！

今月のほっとアドバイス



- Kさんの文章より『ピンチの中のチャンス』
- …これまでの人生や子育てを、この“まなざし”で振り返ってみると、「そうそう確かにそうだった！」って嬉しい発見がありそう…。
- きっと希望や勇気をもらえますよ♡

◎カウンセリングは守秘義務を厳守します。また、カウンセリングの対象は付属幼稚園の保護者となります。予約の際は、在園保護者を優先しますが、空き状況により、当園に入園する未就園児保護者と、当園卒園の保護者(卒園から1年以内に限る)を対象に予約をお受けすることができます。未就園児のお子さんは1回1000円で託児を依頼することも可能です。
◎カウンセリングの予約は、幼稚園に電話(☎472-5193)をし、希望の日時をお知らせください。その場で空き状況をお伝えして日時を決定します。1回のカウンセリングは50分間の予定です。(幼稚園の会議室で実施します)